

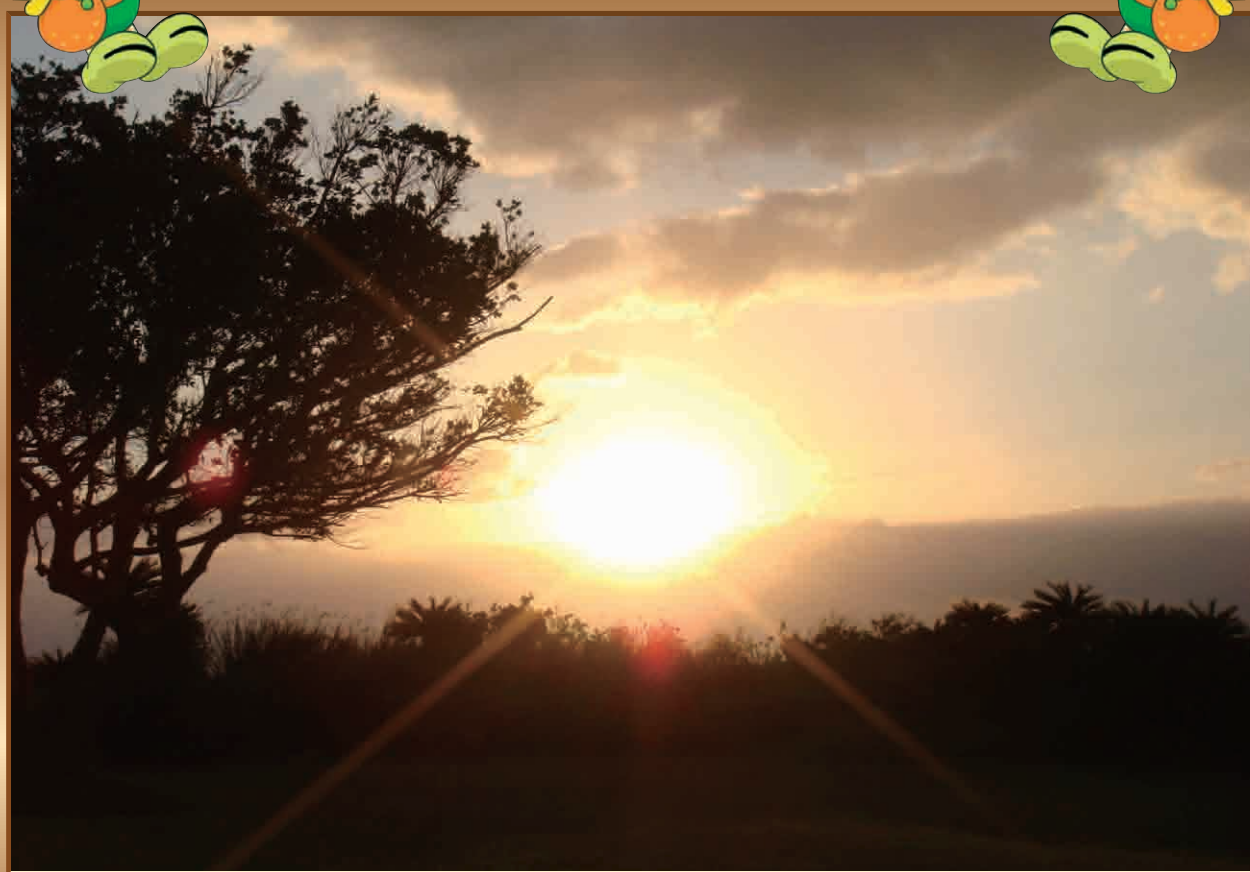


# 議会だより

## 158号

平成27年2月1日発行

発行／喜界町議会 編集／議会広報編集委員会  
〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地  
TEL:0997(65)1115・FAX兼用



平成27年 初日の出(中西公園)

### 主な内容

- 常任委員会の新体制 ..... 2
- 常任委員会報告 ..... 3
- 一般質問に5名が登壇 ..... 6
- 諸般の報告 ..... 11
- 読者の声・編集後記 ..... 12

### 読者の声

#### 「楽しい、おもしろい本を求め 図書館に行こう」

図書館 館長 登山 典壽

テレビで今日の図書館事情なるものを興味深く見ました。おしゃれな喫茶店仕様のスペースでくつろいで読書をしている人。ある部屋では幼児に読み聞かせをしている人。オフィスでもあるかのような部屋でパソコンと向き合っている人。それぞれのニーズに合ったスペースを提供している図書館を紹介していました。

本町図書館は、テレビで紹介しているようなコーヒーや飲み物など飲みながら読書するスペースはありませんが、母子のコーナー・児童コーナー・一般コーナーなどがあり、それぞれのコーナーには乳幼児から高齢者までの様々な読み物があります。また、郷土資料室には郷土誌や各校区の記念誌、「広報さかい」、「議会議事録・だより」等、現在約六万冊の蔵書が幅広く活用されています。

古本市、ミニフェスタなどのイベントや講演会、児童生徒による一日図書館長や中・高校生の職場体験学習等にも取組んでいます。

昨年十一月には、開館三十周年の行事があり、図書館を建設・寄贈していただいた長島公佑氏に感謝の意を表す頌徳碑の建立・除幕式・記念式典・講演が皆様の御支援で盛大に挙行されました。これまでの御支援に深く感謝申し上げます。

鳥の教訓に、「むんぬ知りはてーねーらん」(学問や知識には終わりはない。)

《ハングリー精神こそ学問の道である。》の教えがあります。この教えは、生涯学習のルーツではないでしょうか。

読書をする人(子ども)は思考力、創造力、想像力、読む力、書く力や物事を理解することなど知恵や知識が豊富であると言われています。また、高齢者にとつては、今大きな課題になっている「認知症」の予防にも良いと言われています。難しい読み物ではなく、自分の興味関心にあった読みたい本が良いのです。「本は、家族の一員です！」町民一人一冊以上の本を読む読書月間(週間)を決め、家族で一緒になって取り組んでみてはいかがでしょう。さあ、楽しい、おもしろい本を求めて図書館に行こう。

### 編集後記

議会の委員会構成が、二年任期で新たな構成となるため、昨年十一月一日より広報委員会の委員を務めることになりました。広報委員会は総務文教常任委員会、産業福祉常任委員会から各二名ずつ選任され構成されます。今回十六年ぶりの広報委員になり、改めて町民の皆様に、議会の状況をより正確にまとめてお届けすることの難しさを、痛感いたしました。

議会事務局では、年に四回「議会議事録」(議会での発言をすべてテープ収録し文書化)を発行しています。議事録は本議会でのやり取り、関係資料を載せて議員全員と各集落の区長や関係機関に配布されておりますが、部数が少ないため、各家庭まで届けることができません。そのため広報委員会で、議会の様子を町民の皆さんにお知らせし、親しんでいただくべく編集し「議会だより」として各家庭にお届けしています。今後とも親しみやすい紙面作りに努めてまいりますので、町民の皆様のご指導をよろしく願います。

議会広報委員 外内千里



広報委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 副委員長 | 生駒 弘   |
| 委員   | 峰山 恵喜光 |
| 委員   | 外内 千里  |
| 委員   | 榮 哲治   |
| 委員   | 谷本 泰男  |
| 委員   | 河上 弘仁  |



# 常任委員会の新体制

第2回臨時会が10月20日に開催し、各常任委員会委員の構成が行われました。

## 常任委員会

各所管の事項について、調査及び審査を行います。議員はそれぞれ一つの常任委員になるものとされています。(◎印は委員長、○は副委員長)

### 総務文教委員会 (定数六名)

所管事項 町の重要計画・財政・町税・道路・観光・港湾・水産業・教育に関する事。



青山 春男氏  
【無・先山】



○ 榮 哲治氏  
【無・上嘉鉄】



◎ 外内 千里氏  
【無・志戸桶】



峰山 恵喜光氏  
【無・早町】



里村 忠弘氏  
【無・佐手久】



中島 智一氏  
【無・塩道】

### 産業福祉委員会 (定数七名)

所管事項 農業・商工業・町民生活・水環境・保健・医療・福祉に関する事。



上間 一寛氏  
【無・手久津久】



安岡 歡眞氏  
【無・赤連】



○ 谷本 泰男氏  
【無・早町】



◎ 安田 英次郎氏  
【無・坂嶺】



河上 弘仁氏  
【無・小野津】



生駒 弘氏  
【公明党・城久】



乾 和夫氏  
【無・湾】

### 議会運営委員会

- 委員長 青山 春男 議員
- 副委員長 外内 千里 議員
- 委員 安田 英次郎 議員
- 委員 榮 哲治 議員
- 委員 谷本 泰男 議員

### 奄美群島広域事務組合議員

- 中島 智一 議員

### 大島地区消防組合議員

- 外内 千里 議員

### 大島農業共済組合議員

- 谷本 泰男 議員

### 奄美大島地区介護保険一部事務組合議員

- 安田 英次郎 議員

### 監査委員

- 乾 和夫 議員

平成二十六年第四回定例会は、十二月九日から十七日までの九日間開催されました。初日は、一般質問（議員五名登壇）・工事請負変更契約他二件について可決し・平成二十六年度一般会計補正予算・特別会計補正予算六件・条例十件・陳情四件については、各常委員会に付託しました。

最終本会議には、平成二十六年度喜界町一般会計補正予算、特別会計補正予算六件及び条例等十件を可決し、陳情四件を採択した。追加提案された財産の無償貸付・工事請負変更契約については原案のとおり可決、教育委員会委員の任命については、全会一致で同意しました。

## 常任委員会報告

### 総務文教委員会



総務文教常任委員長  
外内 千里

補正予算は、歳入歳出予算総額にそれぞれ八千六百三十三万六千円を追加し、総額をそれぞれ六十億八千二百六十六万四千円とする。地方債補正は、地対策事業債が一億九千四百四十万円を一億八千八百八十万円に減額、一般廃棄物処理整備事業債、二千九十万円を皆減する。

#### ●歳入の主なもの

増額分は地方交付税で五千七百四十三万二千円、国庫補助金の港湾補助金の一千八百万円、県支出金で確定に伴う空港管理委託金の百七十四万六千円、教育費委託金の土曜事業推進事業委託金で二十八万六千円が主なもの。

減額分は、国庫補助金の地方改善施設整備事業費補助金二百万円、社会資本整備総合交付金百二十六万円、財産収入で教員住宅使用料六十四万三千円が主なもの。

#### ●歳出の増額の主なもの

総務費で財産管理費の修繕費百四十万円は中間集落公民館の爆裂等の補修、交通安全対策費百円の増額はロードミラー十八か所補修、職員研修費二十

万五千円は、マイナンバー制度の研修旅費。

商工費で商工会運営補助金百六十万円増額と商工会イベント支援補助金四十万円の減額は、鹿児島中央駅アミューズ場で喜界島物産展を開催するため、相殺して補助する。土木費の道路維持費二百五十五万円は中里、湾、赤連集落の道路補修と伊実久等の町道補修のため。空港管理費百三十九万二千円の増額の主なものは、化学消防車のタイヤ取り換え。

港湾整備費は、設計委託料を一千四百四十八万一千円減額し、喜界島港改修工事三千四百八十一万六千円を増額、いずれも浦原港に関するもの。



港湾整備が進む浦原港

住宅管理費の主なものは、二百五十万の修繕料で台風被害によるもの。教育費の学校管理費の修繕料は、いずれも台風被害によるもの。

幼稚園費の百九十四万四千円の修繕料は、あゆみ幼稚園体育館外壁の補修費。社会教育費の学校管理の五十九万五千円は、旧早町小学校校舎を北海道大学理学研究院による「喜界島サンゴ礁化学研究所」が、サンゴ礁の研究拠点として借りたいとの希望があり、補修する費用。

#### ◆質疑の主なもの

中央駅アミューズ広場での喜界島物産展の内容についての質疑に、JR九州とアミューズ広場から商工会へ依頼があり、二月十三日から十五日までの三日間、喜界島の物産展とイベントを開催するため、出店業者の物品送料等の経費にあてるもので、旅費宿泊費等は個人持ちとする。イベント等は鹿児島喜界会へ協力をお願いする。

早町小学校前の道路改良事業の一部が未着工であるがとの質疑に、地権者の同意が得られずにいる。今後も協力要請を継続していくとの答弁。給食センター建設費減額の質疑に、最近建設された笠利の給食センターと





産業福祉常任委員長  
安田 英次郎

一般会計補正予算の主なもの

住民課分について

● 歳入の主なもの  
国庫補助金で地域環境保全対策費補助金四百萬円の増額は、台風十八号・十九号による海岸漂着ゴミ対策で追加要望による。雑入の五万円は小型家電リサイクルによる引き渡し代金で、福岡県大牟田市の柴田産業(株)より歳入で、これまで十一トンリサイクル済み。減額は町債で一般廃棄物処理事業債の二十九萬円で、事業が起債対象外となるため。

● 歳出の主なもの

塵芥処理費の七十五萬六千円は、クリーンセンター中央制御盤の修繕費、海岸漂着物地域対策推進事業四百萬増額は、漂着ゴミ処理委託料。

産業振興課分について

● 歳入の主なもの  
増額分で肉用牛特別導入事業基金繰入金五百萬円は、家畜導入に係る基金の国庫相当額返還のため。雑入では家畜診療収入二百萬円、和牛精液代で百六十萬円、家畜基盤再編総合整備事業の個人負担金は五十五萬四千円。減額は農林水産業費県補助金六百十



審査する総務文教委員会



早町小前道路改良工事

六万六千円。

● 歳出の主なもの

増額分で畜産振興費七百十五萬四千円は和牛精液代六十萬円、畜産基盤再編総合整備事業負担金の五十五萬四千円と、家畜導入事業に係る基金の国庫相当返却金五百萬円。家畜診療所運営費二百萬円は医薬材料費、農地費四百十萬円は、修理代百萬円で地下ダムが整備されていない地域の、地下水ポンプアップ設備の修理代と、委託料二百五十萬円は小野津地区営農促進基本計画書作成業務百二十萬円、同じく佐手久・志戸桶地区の百三十萬円。減額の備品購入費六百八千円は加工センター、ごま洗浄機購入費で、県への申請が認められなかったため。

水環境課分について

● 歳入の主なもの  
県支出金の二十二萬四千円の浄化槽事務の権限移譲によるもの。

● 歳出の増額の主なもの

簡易水道事業特別会計への繰り出し金が五十八萬円、公共下水道事業特別会計へ五十九萬三千円。

保健福祉課分について

● 歳入の主なもの  
国庫支出金一千四百六十六萬二千円、県支出金九百四十四萬一千円の増額で、共に負担金で障害者自立支援給付金が主なもので、県支出金では後期高齢者保険基金安定拠出金三百四十七萬六千円を含みます。雑入は、前年度後期高齢者医療療養給付費負担金清算返納金で百四十六萬円。

● 質疑について  
問 人間ドック助成年齢は。  
答 三十歳から。

◆ 質疑について

問 直営診療施設勘定について  
● 歳入について  
雑入二十萬円増額は、装置売却代金(レントゲン)。

● 歳出について

旅費十一萬五千円、需用費四十九萬円、役務費十萬円の増額。  
委託料四十九萬千円、使用料及び賃借料一萬四千円減額。

◆ 質疑について

問 月四日の診療であるが受診者数は。  
答 七月二十四名、八月三十一名、九月四十名、十月五十名、十一月八十名(内二十インフルエンザ)。

◆ 質疑について

平成二十六年喜界町介護保険特別会計補正予算(第二号)について  
● 歳入について  
一般会計繰入金三十九萬四千円、前年度繰越金七百八十四萬六千円の増額。

● 歳出について

一般管理費九萬四千円の増額、居宅介護サービス給付費百八十万円の減額、高額介護サービス費百萬円増額、高額医療合算介護サービス費三十萬円増額はいずれも実績によるもの。償還金七百七十三萬九千円増額は、確定に伴う国、県への清算返戻金。

◆ 質疑について

問 居宅介護サービス費の減額要因は。  
答 施設入所等により在宅介護サービス等の利用者の減によるもの。  
平成二十六年喜界町後期高齢者医療特別会計補正予算(第二号)について  
● 歳入について  
保険基金安定繰入金四百六十三萬六千円の増額。  
● 歳出について  
後期高齢者医療広域連合会への納付金四百六十三萬六千円増額。

平成二十六年喜界町簡易水道事業特別会計補正予算(第二号)について

● 歳入について  
一般会計繰入金五十八萬円と消費税還付金九百五十二萬円を増額するもの。  
● 歳出について  
一般管理費六百四十二萬円の増額のおもな内訳は、賃金九十萬円(水道施設の草刈り)、消耗品二百五十萬円(電気透析)、修繕費三百萬円(ポンプ修理)。簡易水道施設整備費三百萬円の増額は、水道台帳の委託料。

平成二十六年喜界町公共下水道事業特別会計補正予算(第二号)について

● 歳入について  
公共下水道施設使用料の滞納繰越分二十五萬七千円、一般会計繰入金を百五十九萬三千円、前年度繰越金を五十萬円増額。  
● 歳出について  
一般管理費二百三十五萬円の増額内訳は、需用費百五萬円、使用料及び賃料三十萬円、公課費百萬円。



審査する産業福祉委員会

◆ 質疑について

問 居宅介護サービス費収入減額の主な要因は。  
答 ショートステイとデイサービスの利用者の減による。

◆ 質疑について

平成二十六年喜界町老人福祉施設特別会計補正予算(第一号)について  
● 歳入について  
居宅介護サービス費収入七百四十七萬五千円減額、施設介護サービス費収入六百二十八萬一千円の増額、自己負担金収入四百五十五萬三千円の減額、老人福祉施設事業基金八百四十四萬五千円の減額、繰越金千六百三十六萬四千円の増額。  
● 歳出について  
一般管理費の役務費七十一萬二千円増額、居宅介護サービス事業費と施設介護サービス事業費は、財源の組み替え。

増額で介護保険特別会計繰り出し金が三十九萬四千円、後期高齢者医療特別会計拠出金の四百六十三萬六千円。

◆ 質疑の主なもの

漂着ゴミの対象地域の質疑に、主に県道沿いの海岸線を対象にしたが、今回は小野津から志戸桶間を重点的に行う。



海岸漂着物回収作業

特別会計

平成二十六年喜界町国民健康保険特別会計補正予算(第三号)について

● 歳入の主なもの  
国民健康保険税の一般被保険者国民健康保険税二百四十二萬七千の増額は、十月末までの実績によるもの、療養費給付費等交付金百二十八萬七千円の増額は、前年度清算追加金。  
● 歳出の主なもの  
退職者被保険者等高額療養費十七萬五千円の増額で、疾病予防費二十萬円の増額は人間ドック助成金。償還金三

可決した条例

議案第六十八号  
町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例

議案第六十九号  
喜界町職員の給与等に関する条例の一部改正に関する条例

議案第七十号  
喜界町税条例の一部を改正する条例

議案第七十一号  
昭和五十年国民健康保険税第一期の納期に関する条例を廃止する条例

議案第七十二号  
報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例

議案第七十三号  
喜界町国民健康保険条例の一部を改正する条例

議案第七十四号  
喜界町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

議案第七十五号  
喜界町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例

議案第七十六号  
喜界町乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例

議案第七十七号  
喜界町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例